

天然記念物再生事業について
(米原市歴史文化財保護課 報告)

○事業概要

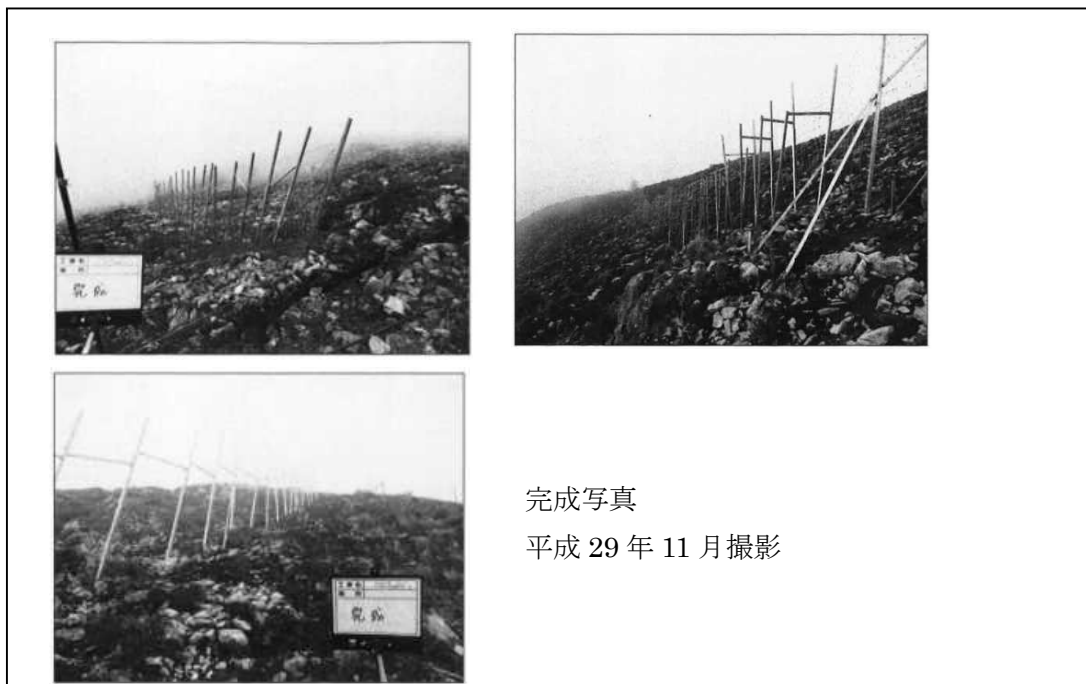
名称：植生防護柵
構造：格子型金網（主要材料：亜鉛メッキ鋼線、亜鉛メッキ鋼板）
長さ：L=202.3m
高さ：H=2.0m（平坦地および傾斜地）、H=1.8m（急傾斜地）
面積：A=約 0.5ha
施工完了：平成 29 年 11 月 6 日
設置場所：伊吹山南側斜面弥高尾根頂上部（地図別添）
設置主体：米原市（歴史文化財保護課）
総事業費：4,290 千円（約 21 千円／1 m）

○維持管理および効果測定等

本事業は、平成 22 年頃からシカの採食により激減したニッコウキスゲおよびオオバギボウシの群落の回復を主な目的としている。事業効果を測定するため、両種の回復状況について定期的な観測を行う。また、特に融雪後の春季および台風等の通過後に植生防護柵の点検を行い、適切な維持管理を行う。

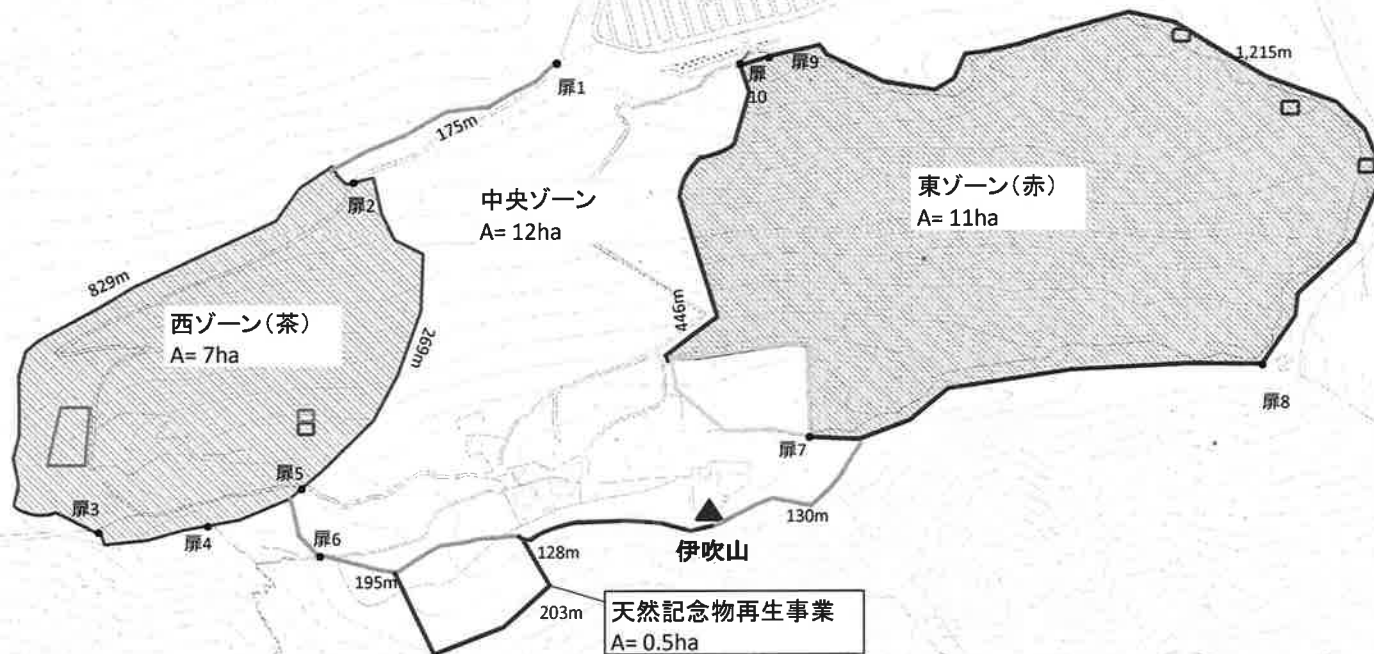


オオバギボウシの大群落
平成 21 年 7 月撮影
(撮影：村瀬忠義氏)

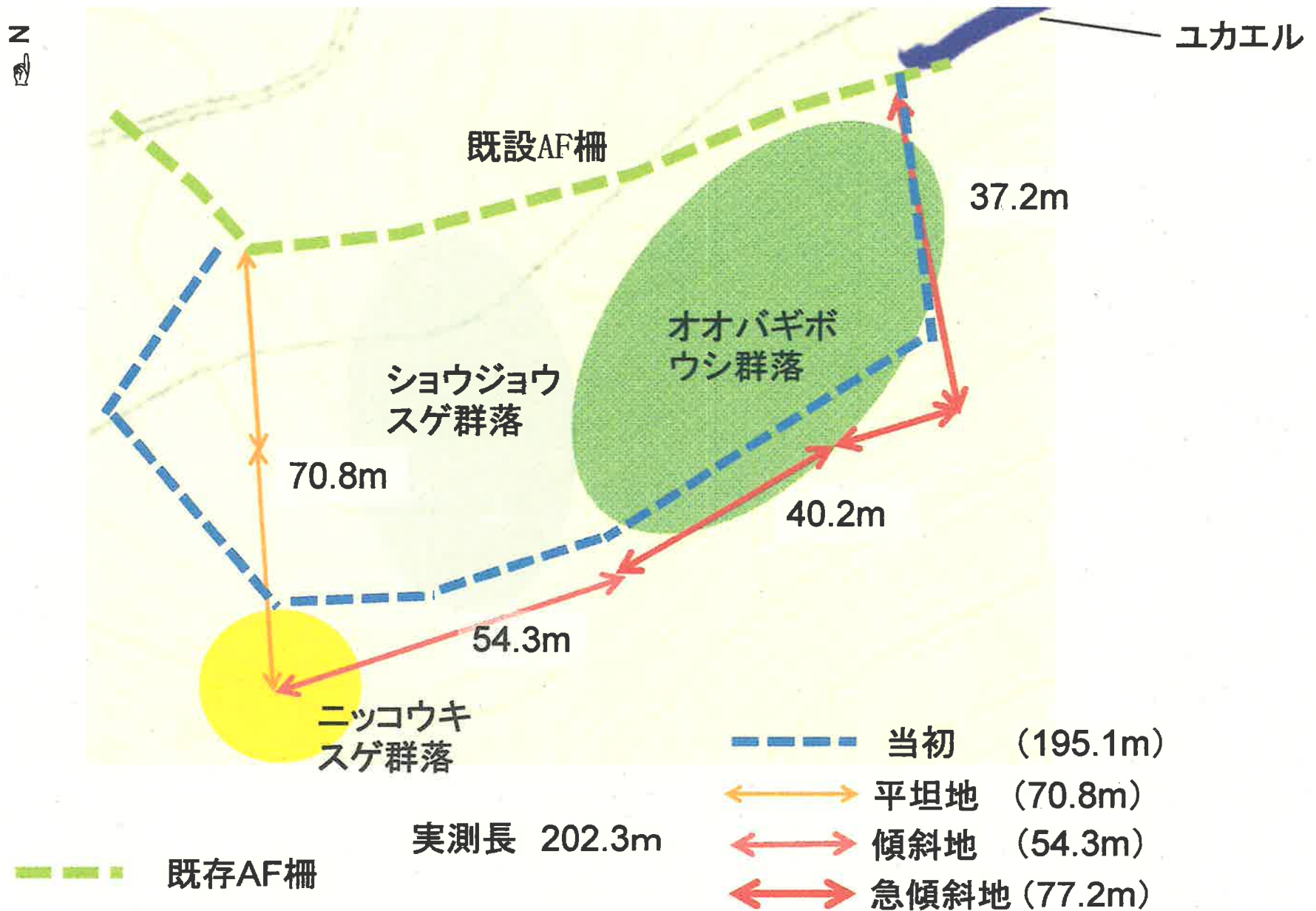


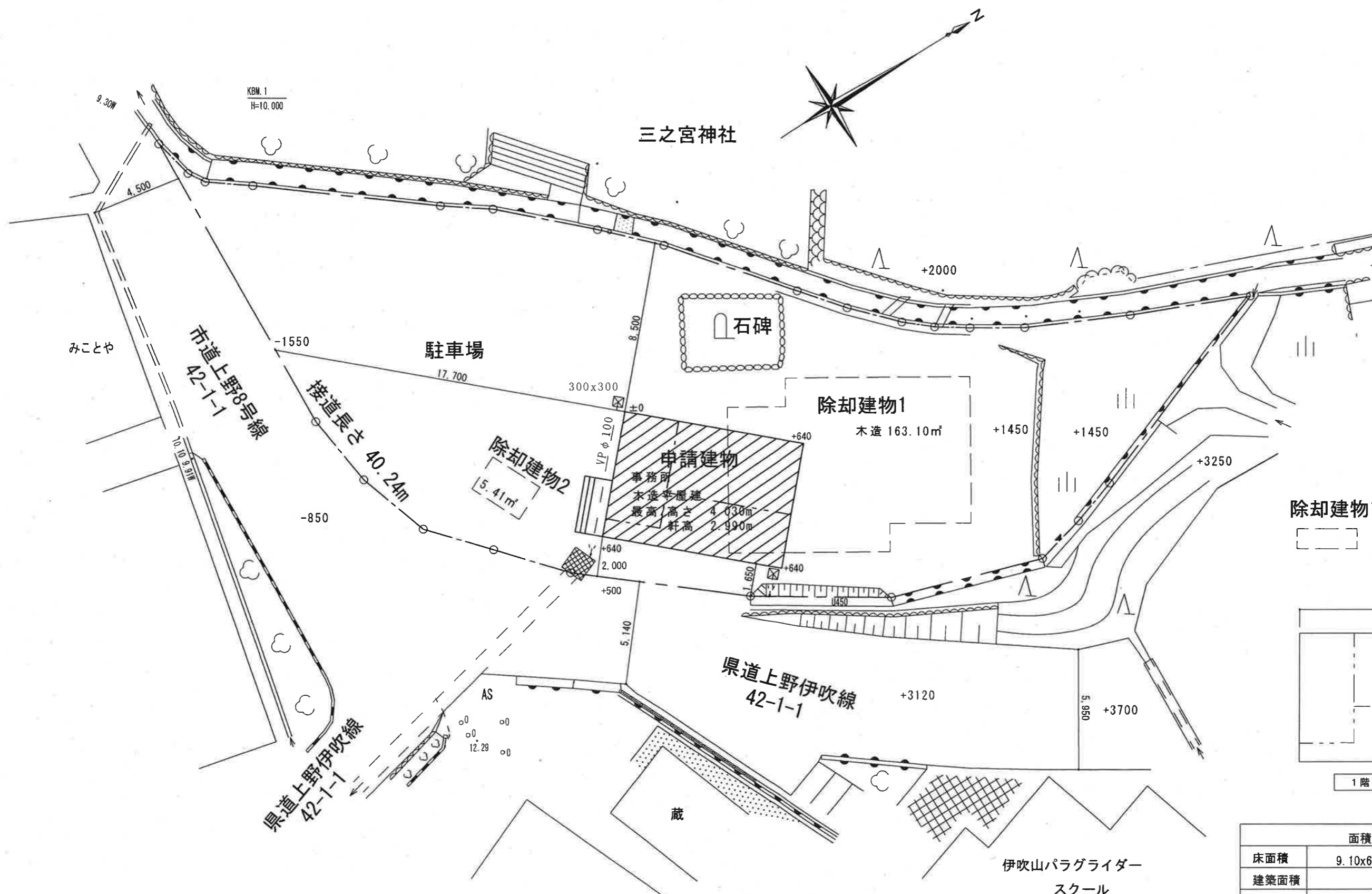
完成写真
平成 29 年 11 月撮影

伊吹山山頂植生防護柵設置状況図

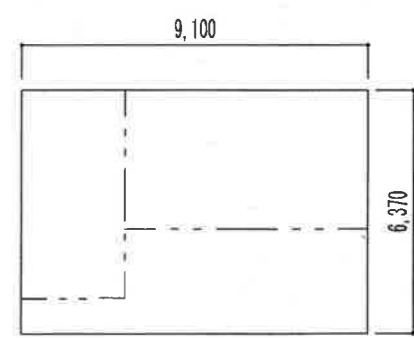


伊吹山植生防護柵位置図





除却建物1, 2
□ 168.51m²

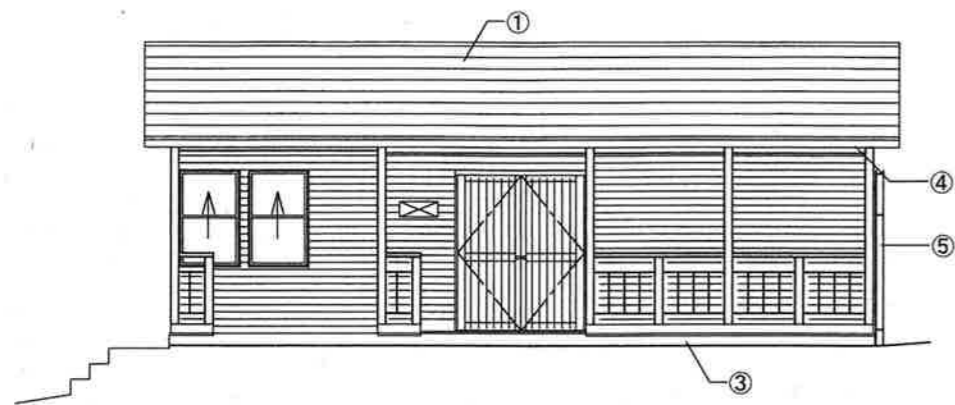


1階平面図 1/200

面積表		
床面積	9.10x6.37= 57.97	57.97m²
建築面積		57.97m²

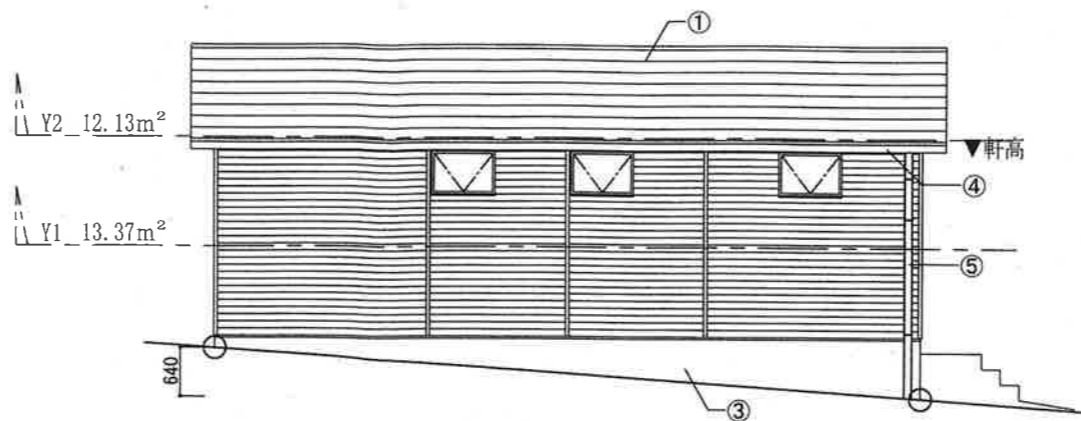
配置図 1/200

Project	伊吹山インフォメーションセンター 新築工事	配置図	A-1
CPU構造・設計	滋賀県長浜市十里町245-21	一級建築士登録第152850号	A-3
三建建築設計	TEL 0749-63-9451 FAX 65-4520	寺倉利明	Date Scale 1/200 Ap Ch Dr



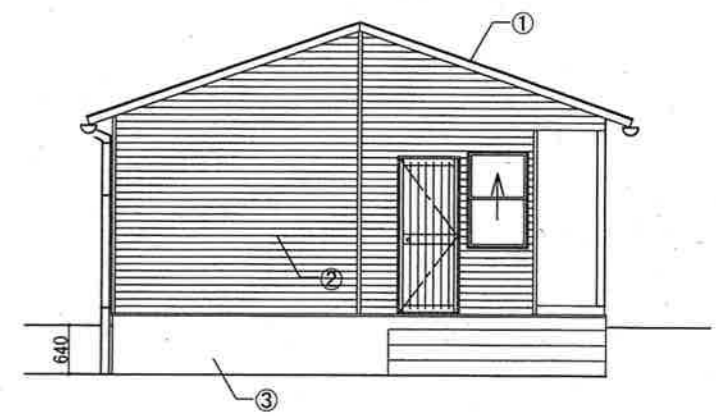
南面図 1/100

積雪表示板
積雪 1.0mまでとする
梯子を常設



Y方向見付 1/100 北面図 1/100

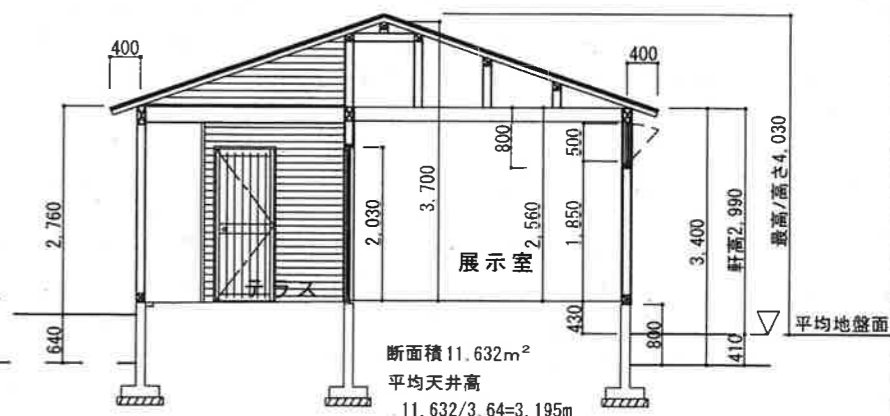
*PCによる求積とする



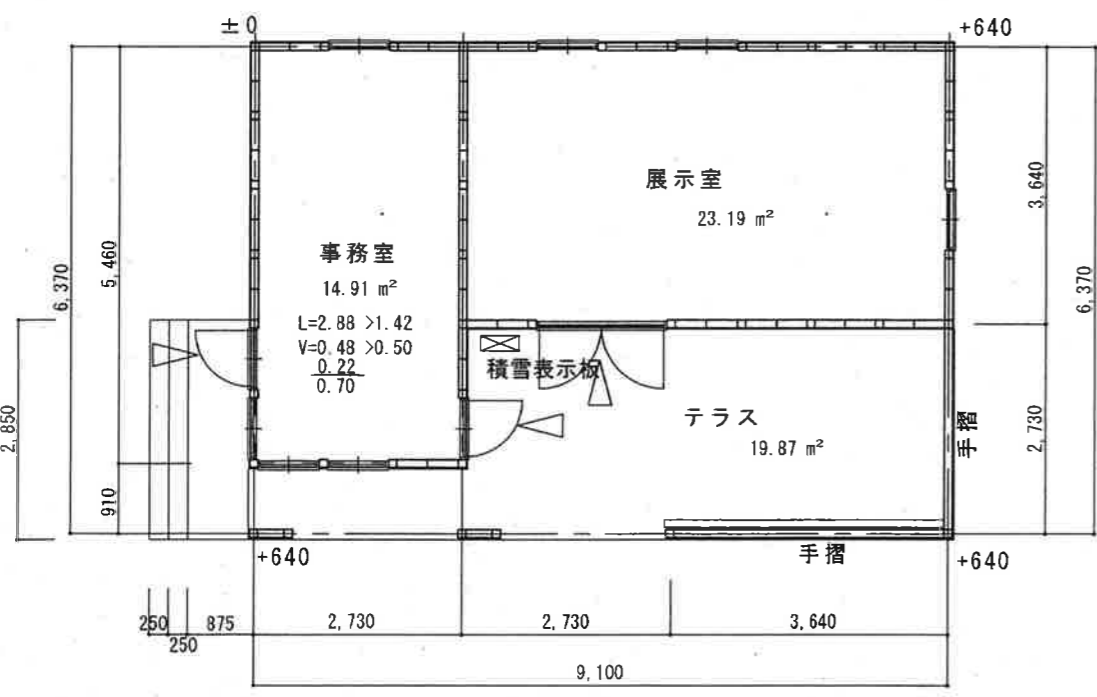
西面図 1/100



X方向見付 1/100 西面図 1/100

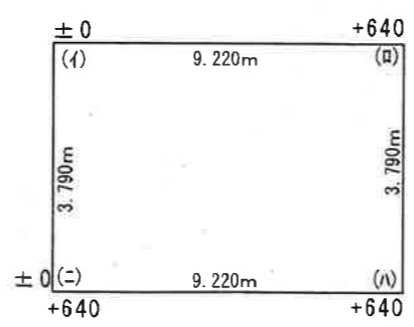


断面図 1/100



平面図 1/100

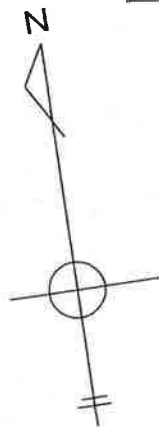
面積表		
床面積	9.10x6.37= 57.97	57.97㎡
建築面積		57.97㎡



平均地盤面の算定			
符号	長さ(m)	高さ(m)	面積(m²)
イ~ロ	9.22	0.64/2	2.950
ロ~ハ	6.49	0.64	4.154
ハ~ニ	9.22	0.64	5.901
ニ~ホ	6.49	0	0
合計	31.42		13.005
平均地盤面	13.005 ÷ 31.42 = 0.41		

平均地盤面算定図 1/200

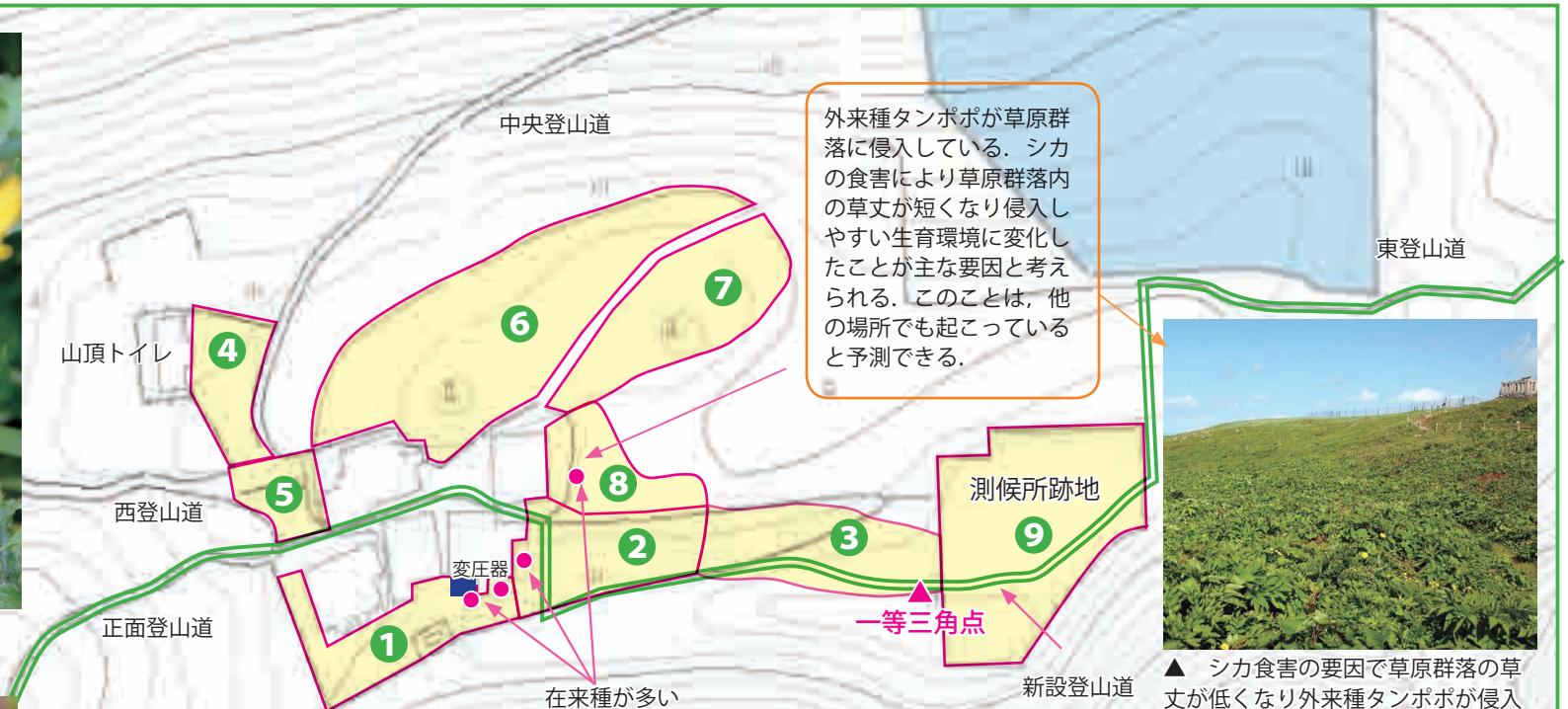
屋外仕上表		
①	屋根	GL鋼板 タテ平葺 (t=0.35) 耐水合板12+12下地 ルーフィング敷
②	外壁	化粧板貼 塗装仕上
③	立上り	CON打放し 120
④	軒樋	塩ビ樋 φ100半円
⑤	縦樋	UV φ100 VP塗(掴み金物 SOP塗 @1500以内)



2017年6月3日調査報告<伊吹山山頂部の在来種タンポポの個体数と分布図（2007年～2017年）>



▲ セイタカタンポポと思われる個体。山頂部の在来種のほとんどはこの種。



▲ シカ食害の要因で草原群落の草丈が低くなり外来種タンポポが侵入

※セイヨウタンポポの駆除が2012年以降毎年実施されてる。※山頂部における在来種タンポポは、8年前の調査時より約40%減少。



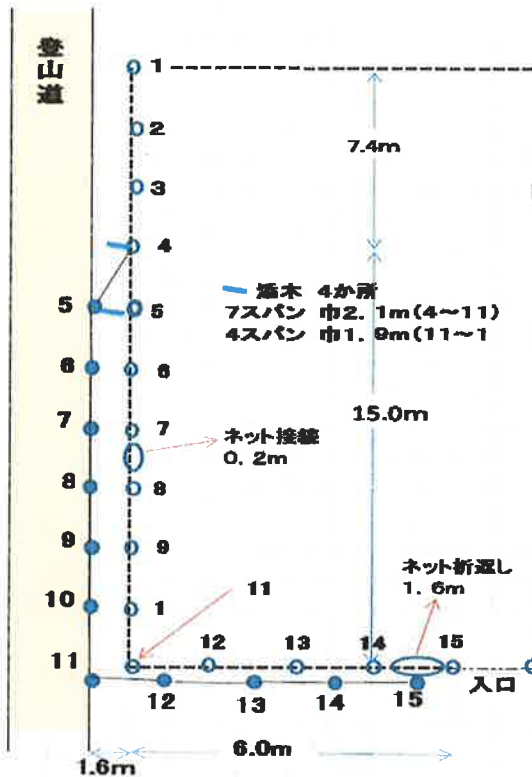
▲ イブキタンポポと思われる個体。山頂部では今回の調査では3個体のみ。学術上さまざまな説があり、今後の研究が望まれる。

年	2007年 (6/2～6/5)		2008年 (5/25～6/8)		2010年 (6/3)		2011年 (6/5)		2017年 (6/3)	備考 (在来種タンポポ個体数の増減)
	外来種 個体数	在来種 個体数	外来種 個体数	在来種 個体数	外来種 個体数	在来種 個体数	外来種 個体数	在来種 個体数	在来種 個体数	
①	539	11	560	0	1,012	6	1,150	8	75	←在来種増
②	461	69	532	28	810	75	828	73	35	←在来種減
③	274	6	175	5	174	17	155	0	0	←2011年11月の測候所解体工事後在来種減
④	630	0	640	0	2,671	0	調査不可	調査不可	0	
⑤	340	30	522	28	601	21	635	44	3	←在来種減
⑥	547	33	727	3	1,090	9	調査不可	調査不可	5	
⑦	639	81	455	95	411	52	921	36	2	←在来種減
⑧	—	—	—	—	—	—	30	96	30	←在来種減
⑨	—	—	—	—	—	—	—	—	0	←今回初調査（測候所解体跡地）
総計	3,430	230	3,611	159	6,769	180	3,719	257	150	※2011年調査から40%減少

2017年6月3日調査報告 <伊吹山山頂部の外来植物の個体数と生育状況・分布図>



シモツケソウ群落再生試験地
保護柵作ネット巾だし作業計画図



作業1日目



作業1日



作業2日目



作業2



作業3日目



作業3

5. 西洋タンポポ除草作業

延べ活動人数 53名 延べ活動日数 5日

定点調査区では、西洋タンポポは年々減少し駆除活動の成果が上がってきていると思われる。このことから、貴重なイブキタンポポを守るための育成区域の保護対策が必要と考えます。イブキタンポポが種を落とした後、次々と開花し続ける西洋タンポポの駆除を行い、イブキタンポポの発芽成長を促す方法が最適と考えており、最適な時期に除草を行うことを提案します。人が踏み込まない保護区を設定することは、背の高い草本が繁殖して背の低いイブキタンポポの育成を阻害します。今後育成区域の高茎草本の除草してはどうかと考えます。

西洋タンポポの繁殖を食い止めるためには根気よく継続して駆除することが重要と考えており、平成30年以降の継続実施について理解とご支援をお願いしたいと思います。

現在駆除活動は、伊吹山もりびとの会と当会が一般公募したボランティアの参加者で活動を行っていますが、多くの人の参加を必要とすることから、平成30年度は、レイカディア大学の授業の一環としてカリキュラムに取り入れていただくことになりました。

多くの人の手が必要なことから県立大学生、伊吹高校生、会社関係等々をお願いするなど官民一体となり多くの方々参加拡大を検討していきたいと考えています。

各年度の除草総重量

西洋タンポポの水分の含有量により重量の変動があり単純に比較できない。

年度	除草総重量	参加人数
平成25年	188kg	54名
平成26年	270kg	68名
平成27年		60名
平成28年	114kg	66名
平成29年	162kg	53名

各年の定点調査区の株数の比較

西洋タンポポの除草を行い翌年の株数

調査区は対山館南側 2m×12m=24㎡

年度	株数	対25年比
平成25年	125株	100%
平成26年	82株	66%
平成27年	64株	52%
平成28年	38株	31%
平成29年	30株	30%



イベント開会式



イベント除草重量測定



山頂の除草



西登山道除草



中央登山道除草



8合目駐車場除草

2) 平成29年度(2017年)ボランティアガイド活動実績報告

月	日	活動場所	活動内容	人数
7月	22日	ジョイ伊吹研修室	ボランティア事前研修会	9名
	23日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	7名
	24日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	3名
	26日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	3名
	27日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	3名
	28日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	4名
	29日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	5名
	31日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	2名
8月	1日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	2名
	2日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	4名
	3日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	4名
	4日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	3名
	6日	西登山道・山頂	花のガイド・伊吹山の概要説明	4名
	11日	西登山道・山頂	山の日 日本自動車道kkイベント協賛	14名
平成29年度ボランティアガイド活動者延べ人数				67名

1. ボランティアガイド活動

延べ活動人数 67名 延べ活動日数 14日

1988年、夏の伊吹山山頂で数名の有志が全国から来山する登山者に、お花のボランティアガイドをはじめから今年(平成30年)で30年の歴史を持つ「伊吹山もりびとの会」の原点となる活動である。

夏の花の最盛期(7/23(日)~8/6(日))の12日間、会員が毎日2~5名延べ44名が出動し、西登山道のシモツケソウ群落再生地で花の案内を行い、山頂では期間中毎日1回(土、日は2回)伊吹山の地理や天候の特性や植生の説明に加え山岳信仰の山として栄えた歴史などについて説明した後、山頂部に咲く花の観察会を開催し、百名山を訪れる全国の登山者によるこぼれ下山後、感謝のメッセージが届くこともしばしばである。



山頂の伊吹山概要説明



西登山道のお花のガイド



西登山道のお花のガイド



シモツケソウ再生地のガイド



山頂のお花のガイド



山頂のお花のガイド

伊吹山周辺地域におけるニホンジカの捕獲について(県事業)

【平成 29 年度の捕獲】

事業名： ニホンジカ広域管理捕獲実施事業（農水省交付金事業）

実施場所： 米原市上野、弥高地先（伊吹山鳥獣保護区）

受注者： 滋賀県猟友会（公募型プロポーザルによる選定）

契約期間： 平成 29 年 12 月 18 日～平成 30 年 3 月 23 日

（内、捕獲期間 3 月上旬～3 月中旬 のべ 9 日・班）

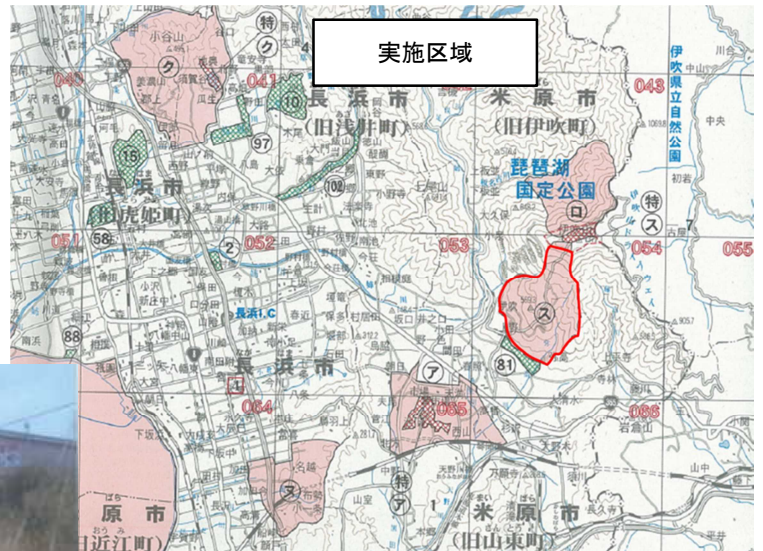
事業内容： 捕獲方法・・・忍び猟

忍び猟とは、単独で山に入り、糞や足跡、獣道を探査し、前日又は直前と思われる新しい痕跡を発見し、その痕跡を残した個体または群れを静かに追いかけて銃器の有効射程距離まで忍び寄り狙撃する方法

捕獲目標・・・15 頭

安全管理： 捕獲日当日に看板やのぼり旗等を入山者や通行者から見やすい位置に掲げ、現地周辺に入山者等がいる場合には、注意喚起を行うとともに、必ず従事者間の情報共有を図り、安全確保に努める。

（安全誘導は、上野登山口、登山道 1 合目、登山道 2 合目、登山道中間付近、弥高林道入口に配置予定。）



※実施区域は、太線で囲まれた区域



(参考)

平成 25 年度	4 頭	(実施主体：米原市	県の補助事業で実施)
平成 26 年度	16 頭	(実施主体：米原市	県の補助事業で実施)
平成 27 年度	1 頭	(実施主体：滋賀県	国の交付金事業で実施)
平成 28 年度	9 頭	(実施主体：滋賀県	国の交付金事業で実施)